



ファームウェアバージョン:	2.02.002	
ハードウェアバージョン:	DGS-1210-10P/GE	A1/A2
	DGS-1210-16/GE	A1
	DGS-1210-24/GE	
	DGS-1210-48/GE	
発行日:	2012/05/30	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
注意事項:	2
アップグレード手順:	2
CLI (Telnet 経由) を使用するアップグレード	2
Web-UI を使用するアップグレード	3
SmartConsole ユーティリティを使用したアップグレード手順	7
追加機能:	10
MIB および D-View モジュールの変更点:	10
コマンドラインインタフェースの変更点:	10
修正した問題点:	10
既知の問題:	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
Runtime : v2.02.002	2012/05/30	DGS-1210-10P/GE	A1/A2
		DGS-1210-16/GE	A1
		DGS-1210-24/GE	
		DGS-1210-48/GE	

注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、[CLI \(Telnet 経由\)](#)、[WebGUI](#) または [SmartConsole ユーティリティ](#) から実行することができます。

CLI (Telnet 経由) を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。例：telnet 10.90.90.90
3. ログオンプロンプトが表示されます。

ユーザ名とパスワードの入力を求められます。工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアファイルをダウンロードします。
show switch	現在のファームウェアおよびブートバージョンの情報を表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

1. ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-1210-16> download firmware_fromTFTP tftp://10.90.90.100/DGS-1210-16_A1_FW_v2.02.002.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

Image Updated Successful

※スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

2.スイッチ再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

DGS-1210-16> show switch

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 1 hrs, 2 min, 33 secs
System Time	: 01/01/2009 02:41:19
System hardware version	: A1
System firmware version	: 2.02.002
System boot version	: 1.00.003
System Protocol version	: 2.001.004
System serial number	: QB2E1A2000002
MAC Address	: 00-26-5A-F0-2D-D7

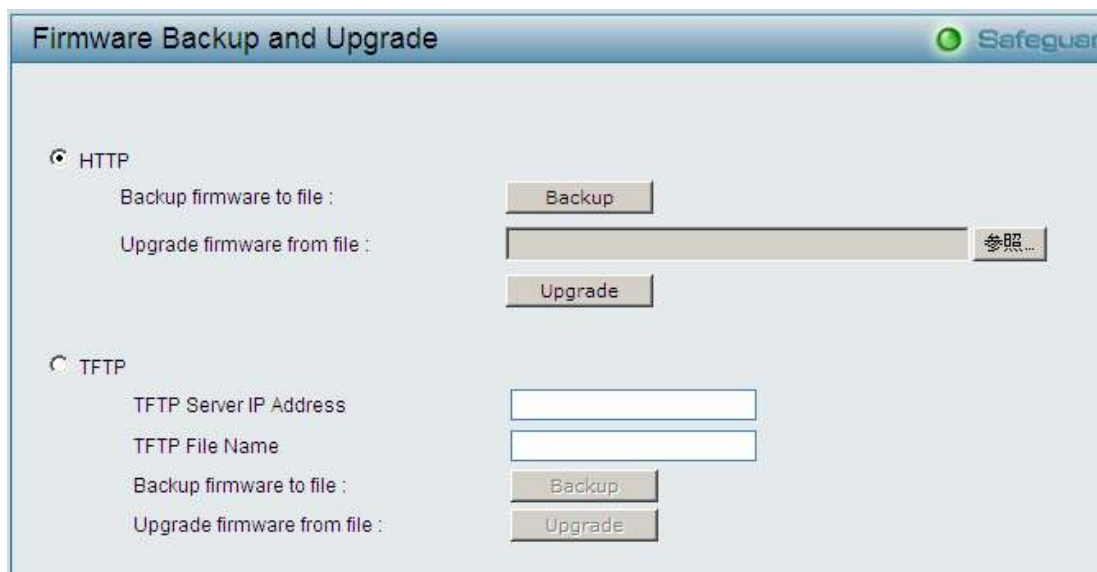
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. Tools メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



・ HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合

ステップ 1 : [参照]/[Browse]ボタンをクリックして、ローカル PC 内のファームウェアファイルを指定して、[Upgrade]ボタンをクリックします。



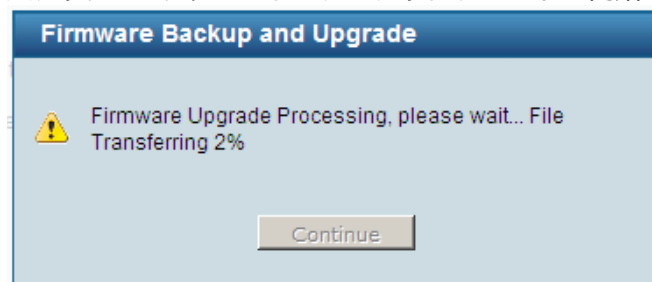
ステップ 2 : Upgrade ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



ステップ 3 : 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

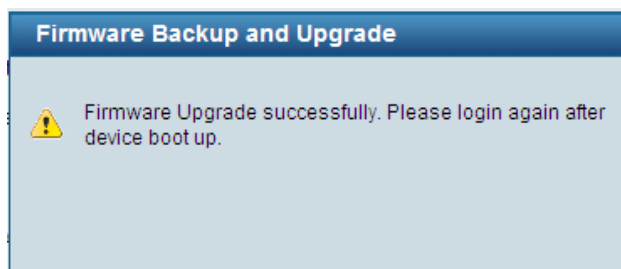


ステップ 4 : ファームウェアのアップグレードが開始します。

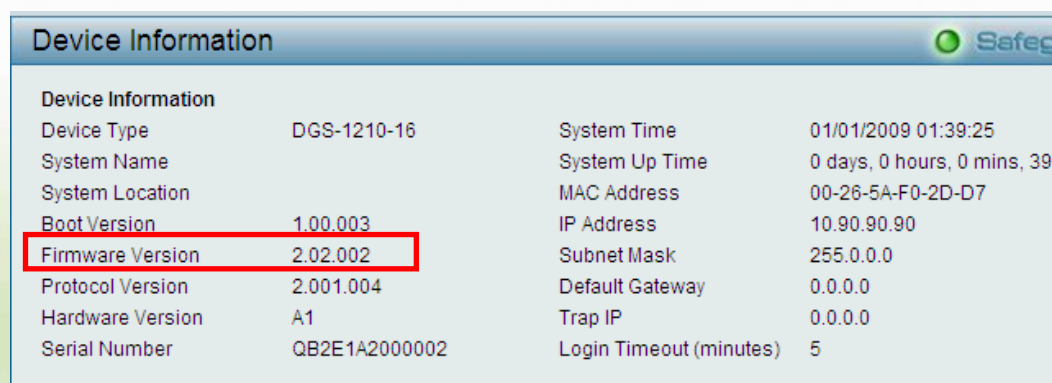


注意 : ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

ステップ 5 : ファームウェアのアップグレードが正常に終了すると、下記の画面が表示され、スイッチが自動的に再起動を行います。



ステップ 6 : スイッチが完全に起動したことを確認し、Web ブラウザをリロードし、再度ログインして、[Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認してください。



・ TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

ステップ 1 : TFTP を選択後、必要な情報を入力し、[Upgrade]ボタンをクリックします。

TFTP

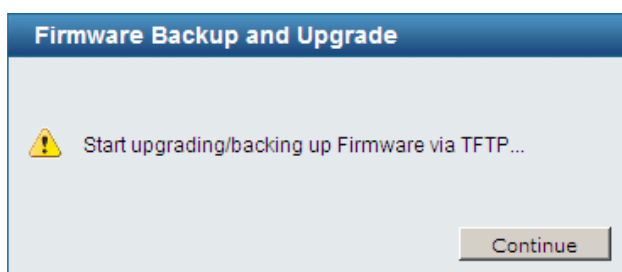
TFTP Server IP Address: 10.90.90.100

TFTP File Name: -16_A1_FW_v2.02.002.hex

Backup firmware to file : Backup

Upgrade firmware from file : Upgrade

ステップ 2 : Upgrade ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



ステップ 3 : [Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されており、アップグレードが終了すると自動的に再起動します。

※ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

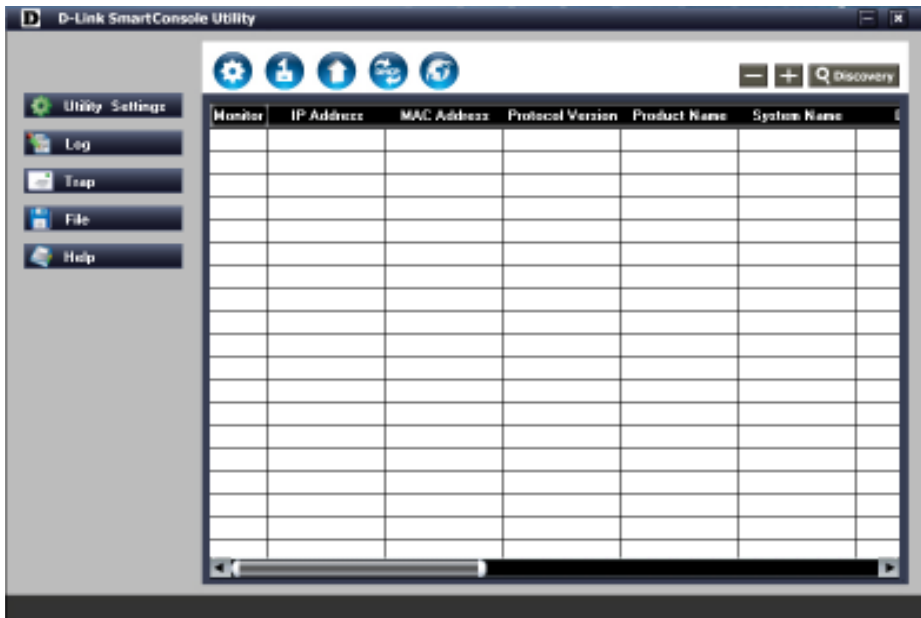
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

ステップ 4 : スイッチが完全に起動したことを確認し、Web ブラウザをリロードし、再度ログインして、[Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認してください。

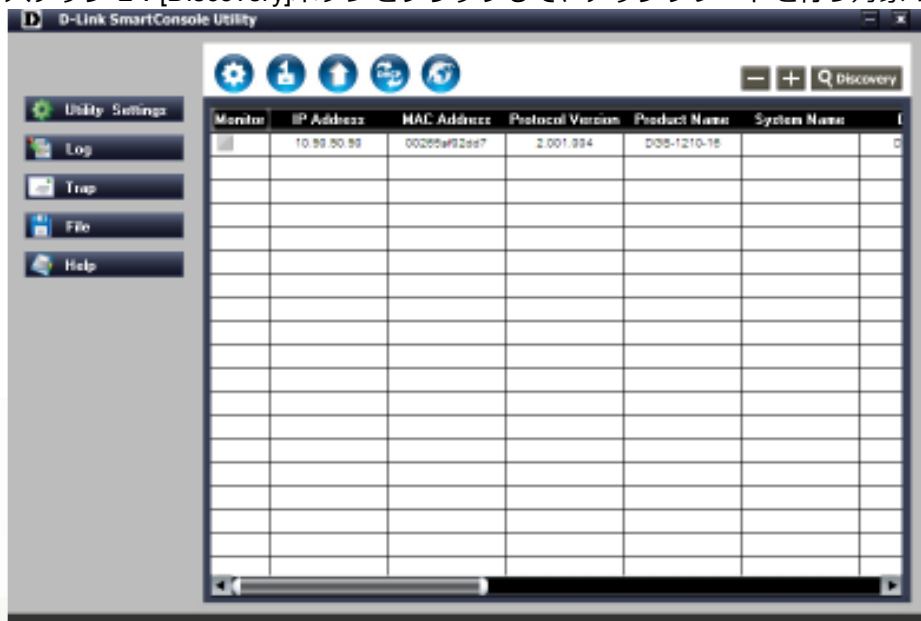
Device Information			
Device Type	DGS-1210-16	System Time	01/01/2009 01:39:25
System Name		System Up Time	0 days, 0 hours, 0 mins, 39
System Location		MAC Address	00-26-5A-F0-2D-D7
Boot Version	1.00.003	IP Address	10.90.90.90
Firmware Version	2.02.002	Subnet Mask	255.0.0.0
Protocol Version	2.001.004	Default Gateway	0.0.0.0
Hardware Version	A1	Trap IP	0.0.0.0
Serial Number	QB2E1A2000002	Login Timeout (minutes)	5

SmartConsole ユーティリティを使用したアップグレード手順

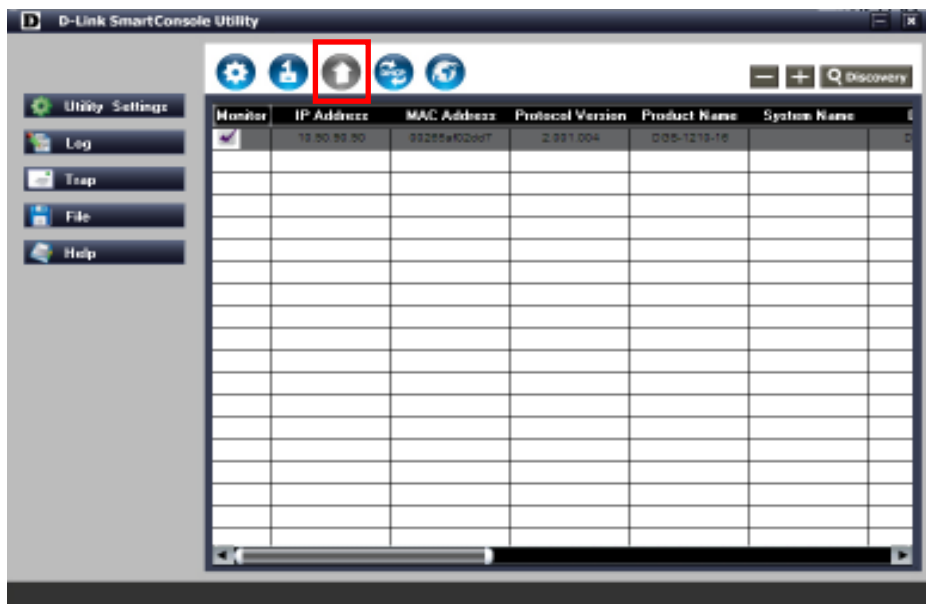
ステップ 1 : Smart Console ユーティリティを起動します。



ステップ 2 : [Discovery] ボタンをクリックして、アップグレードを行う対象のスイッチを探します。

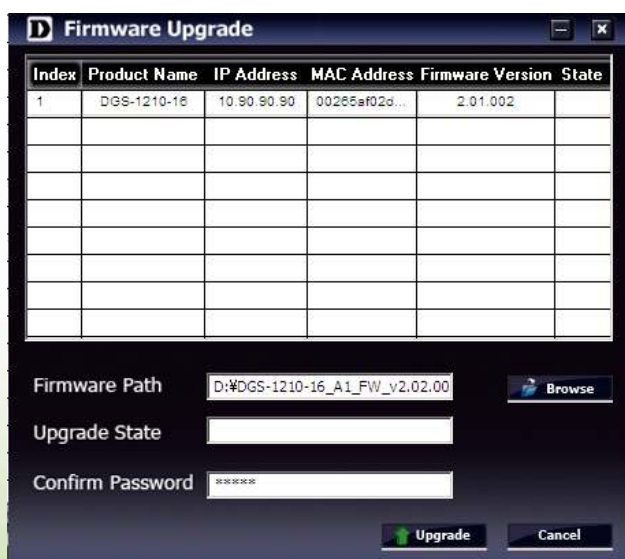


ステップ 3: ファームウェアのアップグレードを行う対象のスイッチを選択し、ファームウェアアップグレードボタンをクリックします。

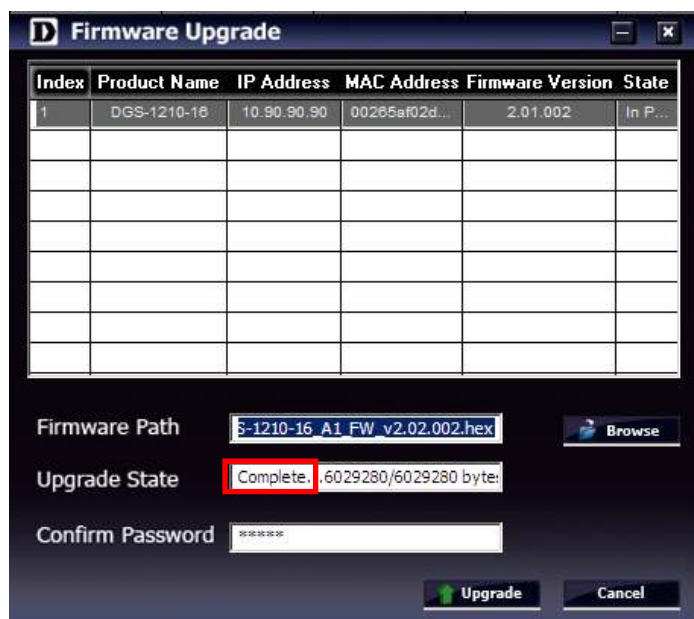


ステップ 4: ファームウェアアップグレードボタンをクリックすると、[Firmware Upgrade]画面が表示されます。[Browse]ボタンをクリックし、ファームウェアアップグレードに使用するファームウェアを選択し、[開く]ボタンを押下します。[Confirm Password]にパスワードを入力し、[Upgrade]ボタンをクリックし、ファームウェアのアップグレードを開始します。

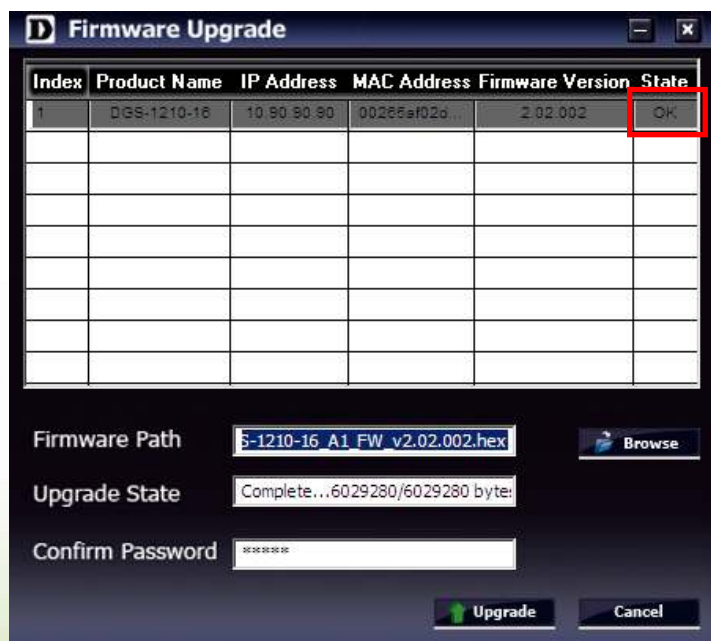
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。また、設定変更も行わないでください。



ステップ 5 : アップグレードが完了すると、[Upgrade State]に[Complete・・・]と表示され、自動的にスイッチが再起動します。



ステップ 6 : スイッチが完全に起動し、「State」欄に「OK」のメッセージが表示されると、ファームウェアのアップグレードは終了となりますので、[Cancel]をクリックし、[Firmware Upgrade]画面を閉じます。



※WebUIを使用したアップグレードと同様、[Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
2.02.002	1. 自動サーベイランス VLAN 機能において、D-Link IP サーベイランスや NVR デバイス用に事前定義 OUI を追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
2.02.002	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
2.02.002	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
2.02.002	<ol style="list-style-type: none"> 1. DGS-1210-10P において、潜在的なケーブルロスに対する誤差を許容するために PoE の内部パラメータを変更いたしました。 2. ある文字の組み合わせによるパスワード設定の問題を修正いたしました。 3. IP パケットがゲートウェイに転送できないことがある問題を修正いたしました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
2.02.002	<ol style="list-style-type: none"> 1. QoS : Strict にキューハンドリングモードが設定され、輻輳が発生した場合、帯域は同じプライオリティを持った Ingress flow に対し不平等に割り当てられる問題。 2. D-View Module : WebUI と D-View 間で情報が同期していないが機能には影響がない問題。 3. D-View Module : 同時に 4 つの LLDP パラメータを設定すると、設定が失敗する問題。 -> 対処法 : WebUI で LLDP を設定してください。

Copyright 2006-2012 D-link Japan K.K.